

東日本大震災に対する 日本赤十字社徳島県支部の救援・救護活動について

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、マグニチュード 9.0、最大震度 7 という大地震と大津波が宮城県・岩手県・福島県の 3 県を中心とした東日本各地を襲いました。

この未曾有の大災害に対し、日本赤十字社徳島県支部では本県の大津波警報が解除された翌日に医療救護班と超急性期災害派遣医療チーム「徳島日赤 DMAT」を被災地へ派遣し、懸命の救護活動を展開しました。

その後も、こころのケア要員の派遣をはじめ、石巻赤十字病院への支援要員や被災地の介護福祉施設への介護福祉士の派遣を行うとともに、救援物資の送付や赤十字奉仕団員による炊き出し支援活動など、多方面にわたる被災者の支援活動を展開しました。

◆医療救護班の活動

発災翌日から救護班第 1 班が岩手県に向け出発。約 1,200 名が避難生活を余儀なくされていた岩手県立山田高等学校に救護所を開設し、電気・水道などのライフラインが途絶える中、限られた薬品を用いて懸命の救護活動を行いました。

当支部では 3 月 31 日までの間、山田高等学校救護所へ合計 5 班 48 名を継続的に派遣し、救護活動を実施しました。

4 月からは活動拠点を岩手県から宮城県へと移し、石巻市内に点在する避難所へ巡回診療を中心に行い、合計 11 班 95 名の救護班員を被災地へ派遣しました。



大きな津波被害を受けた岩手県山田町



停電の中、投光器の明かりを頼りに診療を行いました。



石巻市内に打ちあげられた船舶



避難所を巡回して診療を行う救護班員

◆こころのケア要員の派遣

災害によるストレスは、被災者はもちろん、不眠不休で支援を行う現地の医療機関のスタッフや救護班等にも大きな負担となります。

このような状況の中、当支部から「こころのケア要員」を被災地へ派遣し、避難所をくまなく巡回して被災者一人ひとりに声かけを行うとともに、現地の医療機関のスタッフの疲労を和らげるために、石巻赤十字病院内に設けられたリフレッシュルームで、こころのケア活動を行いました。

避難所内では、「自分だけではないから…」と、なかなか自分の体験や不安について話ができない被災者も多く、こころのケア要員がそういった方々の話に耳を傾けることで、メンタルケアを行いました。

声をかけると、涙を浮かべながら次々に被災時の話をされる方や、避難所では話せない今後の不安について話をされる方など、避難所では多くのストレスを抱えて生活している被災者がほとんどといった状況でした。



避難所の方々へ声かけを行うこころのケア要員

◆介護福祉士の派遣

被災地の介護施設では、自分自身も被災者でありながら、不眠不休で介護を必要とする方々の介護にあたっていました。

こうした介護スタッフに対する支援として、今回、日本赤十字社では初めて「介護チーム」を派遣し、4月14日から1ヶ月間、当支部の徳島赤十字ひのみね総合療育センターの介護福祉士4名を含む32名の介護チームを岩手県陸前高田市へ派遣しました。

介護チームは現地の介護職員に代わり、入浴介助をはじめとした介護支援を行ったほか、日本赤十字社が行っている「健康生活支援講習」を各避難所で実施し、避難所で生活を余儀なくされている方々の健康維持を図る活動も実施しました。



介護チーム員が入所者へハンドケアを実施

◆石巻赤十字病院への支援要員の派遣

宮城県石巻市のほとんどの病院が津波により診療不能に陥った中、津波被害を免れた石巻赤十字病院へは連日多数の患者が殺到。

病院機能が麻痺寸前となっていたことから、徳島赤十字病院の医師や看護師、薬剤師、事務員等を支援要員として多数派遣し、石巻医療圏域の最後の砦となった石巻赤十字病院の医療活動を力強くサポートしました。



◆救援物資の送付

平成 23 年 3 月 14 日には、宮城県松島町及び栗原市の避難所へ毛布 1,000 枚を送付するとともに、3 月 30 日には緊急セット（携帯ラジオや懐中電灯、生活用品等のセット）84 セット、安眠セット 180 セットを宮城県亘理町へ送付しました。

（写真）ボランティアの協力を得て救援物資を送付



◆「炊き出し支援隊」の派遣

日本赤十字社徳島県支部では、医療救護班等による医療救護活動と並行して、当支部の赤十字奉仕団員等で「炊き出し支援隊」を結成。山形県の赤十字奉仕団と合同で両県の郷土料理を中心とした炊き出し支援活動を実施しました。

■「炊き出し支援隊 第 1 陣」

発災から 2 ヶ月を迎えた 5 月 12 日・13 日、当支部では地域赤十字奉仕団員や防災ボランティアなど計 15 名で炊き出し支援隊を結成し、宮城県気仙沼市の小原木中学校避難所で炊き出しを行いました。

在宅避難者を含め 400 名以上の被災者があたたかい食事を心待ちにしているとの情報を受け、災害用移動炊飯器 3 台をフル活用し、約 450 名分の炊き出しを 2 日間で計 4 回実施しました。

被災された東北の方々に少しでも元気になってもらいたいという思いから、徳島県産の食材をふんだんに使った炊き出しメニューを計画し、山形県の赤十字奉仕団員と合同で被災地へ入りました。

初日の昼食は阿波牛の牛丼や、鳴門わかめ・小松島産しらすを使ったきゅうりの酢の物、半田素麺入りのすまし汁。そして、夕食は阿波尾鶏の唐揚げや新鮮なサラダ、鳴門金時の大学芋、そば米汁など、徳島県の郷土料理を被災者の方々に振る舞いました。

発災後、肉や魚、新鮮な野菜はほとんど口にしていなかったという避難者の方々からは、「わざわざ徳島から来てくれてありがとう、本当においしかったよ。」などと話しながら、久々の家庭的で温かい料理に感激し、避難者の顔には笑顔が溢れていました。



宮城県気仙沼市での炊き出しの様子



阿波尾鶏や鳴門金時・そば米などを使ったメニュー

■「炊き出し支援隊 第2陣」



「こんなうんめえ牛丼、久しぶりに食べたさ〜」「芋煮は具沢山で本当にうまかったあ〜」

東日本大震災の被災者を継続的に支援しようと徳島県支部では山形県支部と合同で、平成23年9月18日・19日の2日間、宮城県女川町の総合体育館避難所で炊き出しを実施しました。

両県の地域赤十字奉仕団や支部職員の総勢26名で、避難所や仮設住宅で避難生活

を余儀なくされている被災者約500名に、両県の郷土料理を振る舞いました。

19日の「敬老の日」には、お赤飯と山形の郷土料理「芋煮」に徳島の郷土料理「ならえ（酢の物）」などを奉仕団員の笑顔や元気とともに提供。お赤飯を口にしたおじいちゃんは、「こんな形で敬老の日を祝ってもらえるとは思ってもみなかった。被災してから赤飯を食べるのは初めて。本当においしい。」と目尻にしわを寄せながら笑顔で話していました。



ならえを提供する徳島県の奉仕団員



徳島・山形の郷土料理で敬老の日を祝う

■「炊き出し支援隊 第3陣」

平成24年6月30日から2日間、山形県支部と合同で宮城県石巻市の仮設住宅2ヶ所を訪問し、炊き出しと心の交流活動を行いました。

今回は支援が多い大規模な仮設住宅ではなく、支援の行き届いてない小規模な仮設住宅で、炊き出しと被災者との交流をお願いしたいとの現地からの要請により実施したものです。

両県の赤十字奉仕団らが、徳島・山形の食材を使った炊き出しや、阿波踊りと花笠踊りで被災者に笑顔を届けました。



阿波踊りの浴衣を着て食事を提供する本県の奉仕団員

徳島県の奉仕団員らが披露した阿波踊りには入居者の方々も加わり、会場は笑顔と歓声に包まれました。

入居者からは、「仮設に入居以来、こんな催しは初めて。炊き出しや阿波踊りにとても感動した。」や「身体にも心にも大きく響く贈り物をいただき、涙がでるほど感謝しています。」などの声が聞かれました。



阿波踊りで被災者の方々と交流

■「炊き出し支援隊 第4陣」

東日本大震災の被災者を元気づけようと徳島県支部の赤十字奉仕団員・支部職員等 17 名が、平成 25 年 6 月 29 日から 2 日間、宮城県気仙沼市及び多賀城市の仮設住宅で、山形県支部・宮城県支部と合同で支援活動を行いました。

6 月 29 日は 1 回目の炊き出し支援で活動を行った気仙沼市の小原木中学校を訪問。阿波牛の牛丼や鳴門わかめたっぷりのうどん、鳴門金時大学芋などを提供するとともに、阿波踊りを披露して、仮設住宅入居者も笑顔で踊りの輪に加わっていました。

参加した入居者は、「ここしばらくこうした支援活動はなく、落ち込んでいた心が一気に晴れて最高の気分。元気いっぱいになった」とか「仮設の方がこれだけ参加した催しは初めて。炊き出しも美味しかったし、踊りも楽しかった。」と話していました。



鳴門わかめたっぷりのうどんの仕込み



阿波牛たっぷりの牛丼の提供



本県の奉仕団員等による阿波踊りの披露



ビンゴゲームと輪投げ大会の表彰式

東日本大震災における日本赤十字社徳島県支部の活動状況について

(1) 徳島日赤DMAT(超急性期災害派遣チーム)の派遣状況

班	現地での活動期間	派遣市町村	活動場所	救護員数					診察した患者数
				医師	看護師	薬剤師	主事・調整員	計	
第1班	平成23年 3月12日～3月13日	岩手県花巻市	花巻空港 SCU(Staging Care Unit)	1	3	0	1	5	—

※SCUとは、広域搬送を行う空港等に設置される臨時的医療施設で、症状を安定させるための処置や広域搬送のトリアージ等が実施されます。

(2) 医療救護班の派遣状況

班	現地での活動期間	派遣市町村	活動場所	救護員数					診察した患者数
				医師	看護師	薬剤師	主事・調整員	計	
第1班	平成23年3月13日～3月16日	岩手県下閉伊郡 山田町	山田高等学校	2	5	1	4	12	165
第2班	平成23年3月17日～3月19日		山田高等学校	1	5	1	3	10	94
第3班	平成23年3月20日～3月22日		山田高等学校	2	5	1	2	10	188
第4班	平成23年3月23日～3月25日		山田高等学校	1	3	1	2	7	157
第5班	平成23年3月29日～3月31日		山田高等学校	2	3	1	3	9	127
第6班	平成23年4月4日～4月6日	宮城県石巻市	石巻専修大学救護所	2	3	1	2	8	152
第7班	平成23年4月11日～4月13日		石巻市牡鹿半島 巡回診療	2	3	1	2	8	93
第8班	平成23年4月18日～4月20日		石巻赤十字病院 ショートステイベース 渡波小学校等	2	3	1	2	8	43
第9班	平成23年4月27日～4月29日			2	3	1	2	8	15
第10班	平成23年5月22日～5月25日			2	3	1	2	8	72
第11班	平成23年6月8日～6月11日			1	3	1	2	7	23
合計				19	39	11	26	95	1,129

(3) 石巻赤十字病院支援要員の派遣状況

No	職種	現地での活動期間	活動場所	派遣人数
1	事務	平成23年3月25日～30日	石巻赤十字病院 (宮城県石巻市)	1
2	看護師	平成23年3月28日～4月2日		1
3	薬剤師	平成23年4月4日～4月9日		1
4	看護師	平成23年4月14日～4月19日		1
5	看護師	平成23年4月19日～4月24日		1
6	臨床工学士	平成23年4月19日～4月24日		1
7	看護師	平成23年4月24日～4月29日		1
8	臨床工学士	平成23年4月24日～4月29日		1
9	看護師	平成23年4月29日～5月4日		2
10	薬剤師	平成23年4月29日～5月4日		1
11	内科医	平成23年4月29日～5月4日		1
12	内科医	平成23年5月4日～5月9日		1
13	看護師	平成23年5月9日～5月14日		2
14	看護師	平成23年7月5日～7月14日		2
15	看護師	平成23年8月5日～8月14日		1
計				18

(4) こころのケア要員派遣状況

No	職種	現地での活動期間	活動場所	派遣人数
1	看護師	平成23年4月14日～4月19日	宮城県 石巻市内巡回	1
2	看護師	平成23年4月19日～4月24日		1
3	看護師	平成23年4月24日～4月29日		1
4	看護師2名・調整員1名	平成23年5月22日～5月25日		3
5	看護師3名・調整員1名	平成23年6月19日～6月22日		4
6	看護師3名・調整員1名	平成23年7月21日～7月24日		4
計				14

(5) 介護福祉士の派遣状況

No	職種	現地での活動期間	活動場所	派遣人数
1	介護福祉士	平成23年4月14日～4月22日	特別養護老人ホーム 高寿園	1
2	介護福祉士	平成23年4月21日～4月29日	介護老人保健施設 松原苑	1
3	介護福祉士	平成23年4月28日～5月6日	(岩手県陸前高田市)	1
4	介護福祉士	平成23年5月5日～5月13日		1
5	介護福祉士	平成23年5月31日～6月6日	特別養護老人ホーム三陸園	1
6	介護福祉士	平成23年6月13日～6月19日	介護老人保健施設 ケアプラザおつち (岩手県下閉伊郡大槌町)	1
7	介護福祉士	平成23年6月28日～7月1日		1
計				7

(6) 日本赤十字社の各種救援物資配布状況

品名	配布数(全国合計)	内、徳島県支部 送付分
毛布	132,510	1,000
緊急セット	30,132	84
安眠セット	13,500	180

※その他、メーカーから寄贈された衣類166,500枚等を被災者へ配布

■企業からのご協力による救援物資

品名	協力企業	数量
LEDライト	日亜化学工業(株) 様	400

(7) 炊き出し支援隊の派遣状況

日本赤十字社徳島県支部炊き出し支援隊 第1陣	
・活動期間	平成23年5月12日(木)～13日(金)
・活動場所	宮城県気仙沼市 (炊き出し数) 小原木中学校避難所 420食
・派遣者	地域赤十字奉仕団等 11名 日赤徳島県支部事務局等 4名
日本赤十字社徳島県支部炊き出し支援隊 第2陣	
・活動期間	平成23年9月18日(日)～19日(月)
・活動場所	宮城県女川町 (炊き出し数) 総合体育館避難所 500食
・派遣者	地域赤十字奉仕団 8名 日赤徳島県支部事務局等 5名
日本赤十字社徳島県支部炊き出し支援隊 第3陣	
・活動期間	平成24年6月30日(土)～7月1日(日)
・活動場所	宮城県石巻市 (炊き出し数) 蟹田地区仮設住宅 250食 バイパス用地仮設住宅 600食
・活動内容	みんなで踊ろう「阿波踊り&花笠踊り」 レクリエーション(じゃんけんポン大会・ビンゴゲーム)
・派遣者	地域赤十字奉仕団 10名 日赤徳島県支部事務局等 5名
日本赤十字社徳島県支部被災地支援隊 第4陣	
・活動期間	平成25年6月29日(土)～6月30日(日)
・活動場所	宮城県気仙沼市 小原木中学校仮設住宅 宮城県多賀城市 公園野球場仮設住宅
・活動内容	阿波踊り&花笠踊り、リラクゼーション レクリエーション(輪投げ大会・ビンゴゲーム)